



成28年1月1日
(第77号)
発行者
日奈久住民自治会

日奈久の人口
(11月末現在)
男1316人
女1652人
計2968人
(21年末3444人)

「ありがとう」が
行き交うまち 日奈久
身近な人に「ありがとう」
愛する日奈久に「ありがとう」
訪れる人に「ありがとう」

市、コミュニティセンター移行計画見直し

まだ市民の理解が十分ではないと判断 29年4月から一斉移行へ変更

八代市は、校区公民館（日奈久校区は南部市民センター）をコミュニティセンターに移行し、地域協議会（日奈久校区は日奈久住民自治会）がコミュニティセンターを管理運営し、地域協議会による地域作り活動を充実させるとして、28年4月から移行すると住民説明会を行ってきましたが、このほど移行計画の見直しをすると日奈久住民自治会運営委員会が説明がありました。

その理由として、説明会において住民からの質問や意見に対して十分な回答や説明ができず、市民の理解が得られたとはいえないからとしています。

なかでも、公民館については当面の間、一部の管理業務からスタートして地域協議会に委託すると説明しましたが、今後の公民館活動についてや委託業務の内容や委託費についてなど、移行までの地域協議会の受け入れ体制づくりに多くの住民が見通しを持てるところまでに至っていないと判断したとしています。

今後について、担当課である市民環境部市民活動政策課では次のように示しています。

○29年4月1日から移行することには計画を見直す。

○28年度は現状のままの管理体制、職員配置とする。

○地域協議会への一部管理業務委託は、29年4月1日から2年をめぐり段階的に移行できるように再度地域へ説明を行う。

○市民活動部だけでなく、教育部も地域への説明に当たる。

○地域から不安の声が大きかった地域協議会事務員の雇用等に関すること及び管理業務の内容と委託料（案）は28年3月をめぐりに地域協議会に提示できるよ

新年明けましておめでとございます。平成28年の幕開け、日奈久住民の皆様もすばらしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日奈久住民自治会は平成25年にスタートして3年を経過します。全体としてはまだまだ十分ではありませんが、遅々といえ着実に歩みを進めています。皆様と一緒に一歩前に向かって頑張らねばという思いでおります。



新年のご挨拶
日奈久住民自治会長 平田啓爾

平成27年度で取り残したものは、ターへの移行時期が平成28年から29年4月1日に見直しになりました。移行に伴って、センターで従事する人の雇用など大きな問題も抱え込まなければなりません。

年末の「火流の彩」は企画イベント部会を中心に、多くの会員皆様のご協力をいただきことができました。感謝申し上げます。

「『ありがとう』が行き交うまち 日奈久」を合い言葉に、今年もよろしくお願い致します。



どんどや
1月11日10時
小中学校運動場
を祈る民間伝承行事です。

1月11日（月・成人の日）午前10時点火。婦人会の皆さんがおいしいせんざいを振る舞います。

どんどやの火に当たり、焼き餅を食べて、元氣よく一年をスタートしましょう。

前日の10日午前中は実行委員で竹切り等を行います。午後からの作業に参加できる方は、運動場にお集まりください。

*ご近所には降灰でのご迷惑をどうぞお許しください。

元旦は町内対抗駅伝大会 応援に行きましょう

午前10時 開会
日奈久中学校北側周辺コース
幼児から壮年まで10名の選手がたすきをつなぎます

「西湯」廃止に向けた手続きへ 市 住民説明会を開催 11月28日

給湯ボイラー等の故障により、今年の5月3日から休館中の日奈久温泉施設「西湯」の今後の方向性について、11月28日（土）に日奈久ゆめ倉庫で説明会が開催され、屋の部、夜の部合わせて65人の住民が参加しました。

説明会では、市（観光振興課）から廃止の方針に至った経緯が説明され、その後、利用者との意見交換が行われました。

市の説明では、西湯利用者等からの意見及び第三者機関の検討結果を踏まえ、

「多くの住民ニーズやサービスであるか」「近隣に類似施設はないか」「持続的な負担は可能であるか」「事業成果が達成されているか」など9つの観点から総合的に判断。その結果、西湯は廃止。主な理由は老朽化が激しく、今後の修繕費や維持管理費に多額の費用が必要、利用者数は年々減少、利用実態として特定の地域住民の利用が多いなどが挙げられました。



市担当者の説明に意見を述べる住民

1月の行事から			
12月31日(木)	火流の彩	20:00	温泉神社
1日(金)	●元旦		
	町内対抗駅伝大会	10:00	中学校
11日(月)	●成人の日		
	どんどや	10:00	小中運動場
17日(日)	第11回校区対抗駅伝競走大会		
—— 住民自治会関係会議 ——			
(会場 南部市民センター)			
15日(金)	運営委員会		
20日(水)	広報部会	19:00	

お詫び
第76号(12月1日)の記事「シニアサッカーフェスティバルレセプション」において、婦人会の皆さんが豚汁でお接待されましたことを追加します。
温泉神社秋季大祭の写真撮影は白浜邦彦さんの誤りでした。
「ひふみ館」の広告で、大売り出しの曜日が間違っておりました。

また、廃止に伴う激変緩和措置として、①利用者に対し近隣温泉施設の助成券配布、②東湯の営業時間を12時から16時間へ延長するなどを検討しているとの説明がありました。

参加者からは、西湯再開を要望する意見が出されました。

12月3日八代市議会で中山議員がボイラー故障で5月から営業休止の西湯について質問。市からの回答は「昨年度280万円の赤字。今後は、住民による運営が可能か検討してもらう。希望がなければ民間への譲渡公募。応募がなければ廃止」でした。

お知らせと寄付のお礼

中西町 江浦俊男様のご厚意により、本号は両面カラー印刷で発行しました。

加えて、竹灯ろう製作用に電気ドリル及び特殊工具のご寄付も頂きました。

ここに厚くお礼を申し上げます。

日奈久住民自治会

(広告欄)

演技、展示、販売等もいたくさん
ふれあい祭に300人

11月28日第13回日奈久校区ふれあい祭がゆめ倉庫で行われました。
ポップコーン、ヤツシロソウの苗（二見の貴田さん提供）が無料配布。ひふみ館朝市感謝祭、婦人会フリーマーケット



フィナーレは会場全員で「ふるさと・日奈久」への思いを込めて「故郷」を歌いました。



ひふみ館の元気いっばいの女性陣。ふれあい祭はステージも販売も女性パワーが全開。

鹿の深刻な食害
果樹生産者に打撃

鹿による果樹類の被害は深刻な様相を呈しています。

この甘夏畑では50本以上の果樹が鹿に果実や葉、木の表皮を食べられたり、枝を折られたり等の被害を受けました。農家の人は応急処置を施したり、電柵を設置したりなど、労力と資金を出して対応していますが、木が枯死する恐れもあり、来年以降の果樹の生産は見通しが立たない現状です。



鹿に枝を折られ、表皮をかじられた果樹。応急処置をしたが、枯死する恐れがある。

婦人会からのお知らせ

●ふれあい祭のフリーマーケット及びバザーへのご協力誠にありがとうございます。

●年末年始の交通事故防止運動及び特別警戒活動として、婦人会では広報車を使って交通事故防止、防犯の呼びかけを行います。年末年始を安全にお過ごしください。

●日奈久校区婦人会三社詣でのご案内

◇期 日 平成28年1月8日（金）

◇行き先 人吉・球磨方面

お誘い合わせの上で参加ください。

申し込みは近くの婦人会員へ

ゴリけん 日奈久里帰りライブ

同級生の協力でテレビ番組収録

12月13日、福岡で活躍中のお笑いタレントゴリけん（本名町田健一郎）日奈久出身の里帰り初ライブがゆめ倉庫であり満員の観客を魅せました。「テレビの企画で急遽日奈久でライブをやったのにもかかわらず沢山のお客様に来て頂き本当にありがとうございます。今回、皆さんから頂いた日奈久のパワーをガソリンにして頑張りますので、これからも応援よろしくお願いします」とメッセージが届きました。



写真は、写真後、入場者全員と握手し言葉を交わすゴリけん（中央）

焼きたてのちくわ うまい！

ちくわ焼き体験開催

12月の毎週土曜日、ばんべい湯前などでちくわ焼き体験を実施、宿泊観光客などに喜ばれました。（日奈久温泉旅館組合、アイ♡日奈久、とらや蒲鉾店協力）



午後2時から5時までの宿泊客のお楽しみとして企画されました。体験料1本500円

魅惑のイルミネーション



（上）みずほ保育園 1月3日まで
（左）「ひな村」1月10日まで。3号線記念碑前バス停・消防庫から路地へ。駐車可



不思議な体験

東町 池田正一

私は日奈久に住んで60年余り、酒屋を営むかたわら、ボランティアで温泉街案内ガイドをしています。

私の不思議な体験をお話します。
顔にできたイボを取りたいとイボ取り地蔵様にお願ひに行った時のことです。祀られている場所に着くと、2mほどの地蔵様が神々しく立っておられました。

私は願ひ事を言って豆を供えて帰りました。その後、2週間ぐらいでイボは小さくなり、1ヶ月ほどで取れてしまいました。そこで、お礼にお参りに行ったところ、小さな地蔵様が立っているだけで、先日見たあの大きな地蔵様の姿はどんなに付近を見渡しても探しても見つかりませんでした。私はあまりの不思議さに驚き、体が震え、涙が止めどなく流れました。今思い出しても感激の極みでした。

毎年、9月23日には地蔵祭りが行われ、町内の方がお供え物を供えていらっしゃいます。街案内の時も注意して見ると、街のあちろこちらに神様がいらっしゃるの、常日頃より心からお参りしようとかけています。そんな話を他の人に話しますと、「池田さんが信心深い方だから神様が姿を見せてくださったのですよ」と言われました。それを聞いてからは、毎月23日になると御神酒を持ってお参りに行っています。

拝殿の屋根葺き替えを計画
600年祭を期に日奈久温泉神社



日奈久温泉神社は、江戸時代の文政5（1823）年10月に現在地に神殿と拝殿が建立されました。天保11（1840）年6月大地震のため、神殿拝殿ともに倒壊しましたがその秋に修復されました。建立されて127年経過した昭和43（1968）年11月老朽化した拝殿の改築が計画され、昭和44年8月2日に落成式が行われ現在に至っております。神社では4年後の平成31年にご神体で鎮座600年祭を迎えるに当たり屋根の銅板葺き替えが計画されています。